

財 務 ・ 会 計

2025年合格目標 TAC教材

1 次完成答練① 第 8 問

会社法上の計算書類に該当するものとして、最も不適切なものはどれか。

- ア 貸借対照表 (×)
イ 損益計算書 (×)
ウ 株主資本等変動計算書 (×)
エ キャッシュ・フロー計算書 (○)
オ 個別注記表 (×)

1 次完成答練① 第 6 問

ウ 棚卸資産の収益性の低下による簿価切り下げ額は原則として売上原価とするが、臨時の事象に起因し、かつ、多額であるときには、営業外費用に計上する (×)。

1 次上級答練 第 5 問

ウ のれんの当期償却額は、損益計算書上、販売費及び一般管理費の区分に表示する (○)。

1 次完成答練② 第 4 問

イ のれんは、無形固定資産に計上し、その後 20 年以内のその効果の及び期間にわたって規則的に償却し、その償却額は営業外費用の区分に掲記する (×)。

1 次完成答練② 第 21 問

次の資料に基づき、加重平均資本コストとして最も適切なものを下記の解答群から選べ。

【資料】

- 現在の株価を 500 円、発行済株式数を 100 万株とする。
- 現在 3 億円の借入入れを 3% の金利で調達している。
- 法人税の実効税率を 30%、自己資本コストを 8% とする。

【解答群】

- ア 4.6% (×)
イ 5.8% (○)
ウ 6.1% (×)
エ 6.8% (×)

1 次養成答練 第 8 問

a 正味現在価値法では、投資によって生じる毎年のキャッシュフローの符号が複数回変化する場合、異なるいくつかの値が得られる場合がある (×)。

令和7年度 中小企業診断士1次試験

本試験 第 2 問

イ 株式会社が作成しなければならない計算書類とは、貸借対照表、損益計算書および包括利益計算書である (×)。

本試験 第 4 問

イ 棚卸資産に係る簿価切下額のうち、臨時の事象に起因し、かつ、多額であるものは、損益計算書上、特別損失として表示する (○)。

本試験 第 8 問

損益計算書項目のうち、営業損益計算の区分に含まれるものとして、最も適切なものはどれか。

ウ のれん償却 (○)

本試験 第 16 問

以下のデータに基づき、毎期一定額の配当を行っている当社の加重平均資本コストを計算したとき、最も適切なものを下記の解答群から選べ。ただし、株主資本コストは配当割引モデルによって求めるものとする。

【当社のデータ】

負債（時価）	5,000万円
株主資本（時価）	5,000万円
発行済株式数	100万株
毎期の1株当たり配当金	5円
税引前の負債コスト	4 %
法人税等の実効税率	30 %

【解答群】

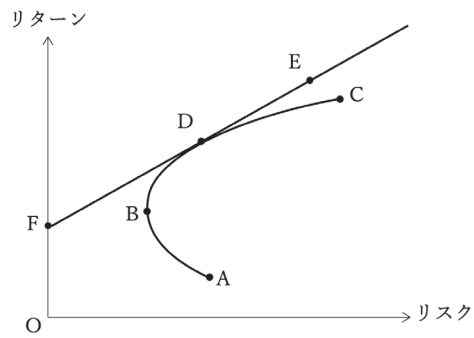
- ア 5.6% (×)
イ 6.4% (○)
ウ 6.5% (×)
エ 7% (×)

本試験 第 19 問

ウ 内部収益率法は、内部収益率が複数存在する場合があることを指摘されている (○)。

1次完成答練① 第24問(設問1)

以下のグラフは、ポートフォリオ理論の下での、すべての危険資産と安全資産の投資機会集合を示している。これに関して、下記の設問に答えよ。



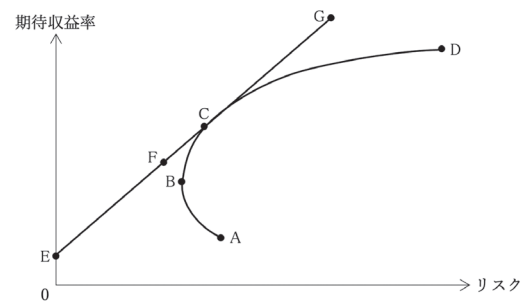
(設問1)

危険資産に加え、リスクフリーレートで自由に借入れと貸し出しができる場合、投資機会集合の効率的フロンティアを表す曲線として、最も適切なものはどれか。

- ア 曲線 ABDC (×)
- イ 曲線 BDC (×)
- ウ 曲線 FDC (×)
- エ 曲線 FDE (○)

本試験 第20問

以下の図は、縦軸に投資の期待収益率、横軸に当該投資収益率のリスクをとった平面上に、ポートフォリオ理論の下での、危険資産と安全資産の投資機会集合を示したものである。これに関して、下記の設問に答えよ。なお、点Cは、点Eと点Gを結ぶ直線と、点Aと点Dを結ぶ曲線の接点である。



(設問2)

ア 安全資産による資金の貸借ができるならば、効率的フロンティアは点Eと点Gを結ぶ直線である (○)。